

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和元年 7 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 1～4）

24 日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳火口内及びグスク火山火口北側の火口内壁で白色の噴気が認められました。また、硫黄岳火口の西側の海岸線に沿って黄緑色の変色水域が幅 100m、長さ約 600m で分布していました。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

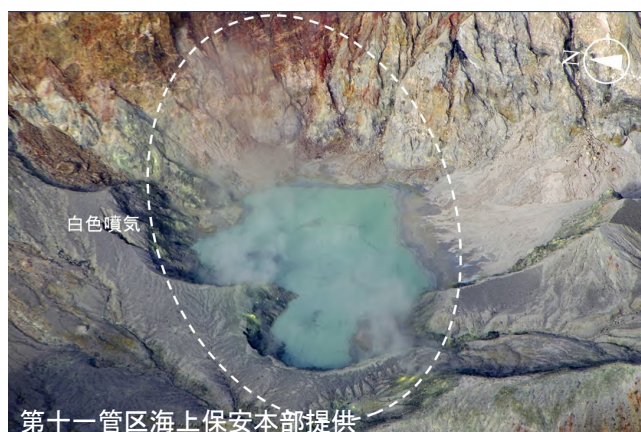


図 1 硫黄鳥島 硫黄岳火口の噴気



図 2 硫黄鳥島 グスク火山火口の噴気

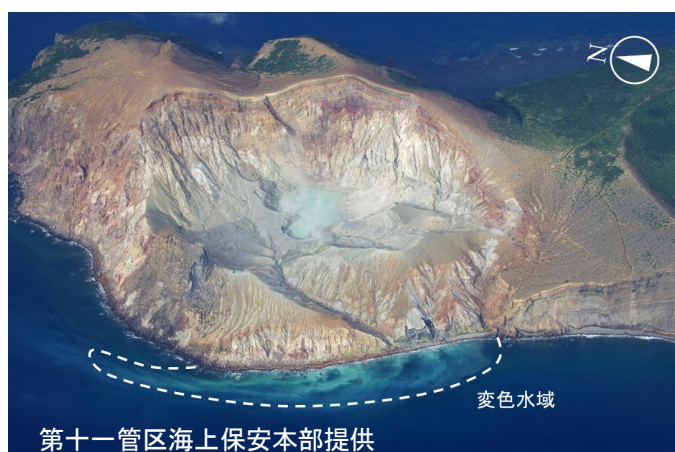


図 3 硫黄鳥島 硫黄鳥島西岸の変色水域



図 4 硫黄鳥島 撮影位置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧できます。

この資料は、第十一管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

○ 5 月、6 月の活動概況（図 5～8）

5 月 17 日及び 6 月 24 日に実施した海上からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。

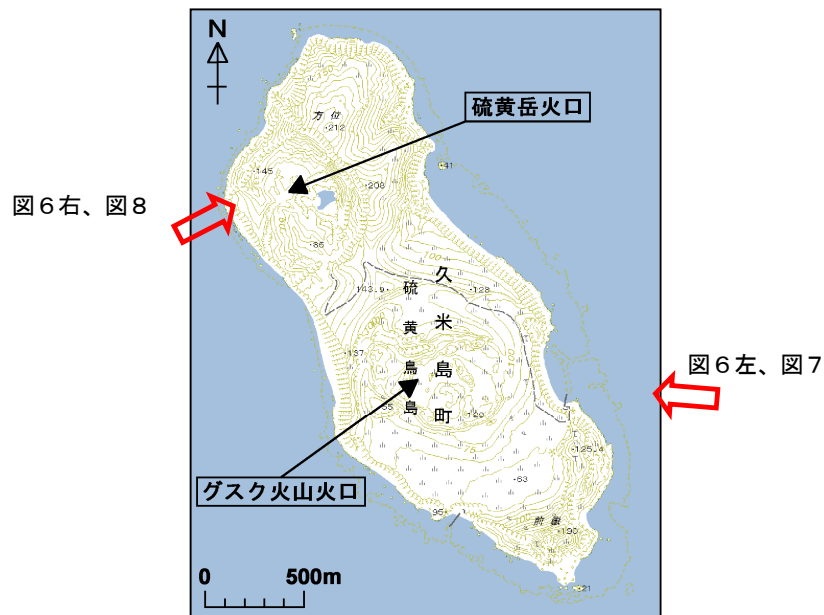


図 5 硫黄島 火口位置図と各図の撮影方向

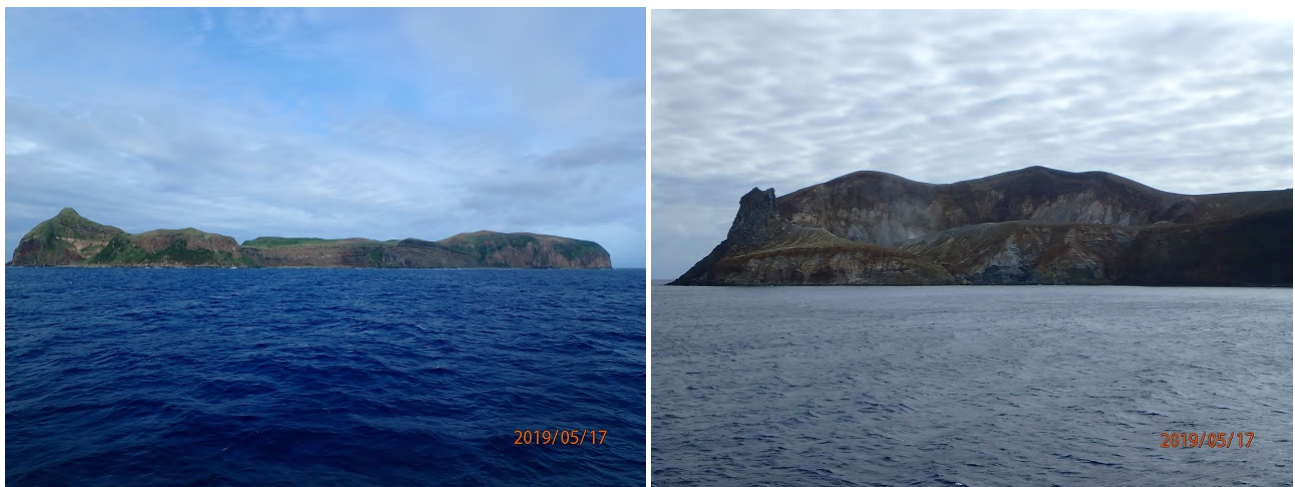


図 6 硫黄島 硫黄島全景と硫黄岳火口の状況（5 月 17 日撮影）



図 7 硫黄島 グスク火山火口の状況（6 月 24 日撮影）



図 8 硫黄島 硫黄岳火口の状況（6 月 24 日撮影）